

リワーク事業のご案内

リワーク事業とは

平成16年度から地域障害者職業センター（以下「センター」。）で、リワーク事業（精神障害者職場復帰支援事業）が全国の6センター（「5センター所在地一覧」参照）で開始されました。

リワーク事業では、うつ病等により休職中で精神障害のある方（以下「支援対象者」。）が円滑に職場復帰できるよう、主治医等との連携の下、支援対象者を雇用している事業主（以下「雇用事業主」。）及び支援対象者に対して必要な支援を行います。

リワーク事業は、支援対象者、雇用事業主及び協力医の協力が重要ですので、次の条件にあてはまる必要があります。

- 1 支援対象者が、職場復帰に向けてセンターの支援を受けることに同意していること。
- 2 協力医が、支援対象者が職場復帰に向けての活動及びセンターの支援を受けることを認めていること。
- 3 雇用事業主が、職場復帰のために支援対象者がセンターの支援を受けることに同意していること。



リワーク事業の開始には、支援対象者、雇用事業主及び協力医の3者の合意に基づき、雇用事業主からセンターに支援の要請を行って頂く必要があります。

支援の開始と期間

支援の開始時期、支援期間、支援内容は、雇用事業主、支援対象者、協力医等と相談のうえ決定します。

協力医とは

支援対象者を診療している精神科医であって、支援対象者の職場復帰に向けて、センターの事業に協力することに同意をいただいた方をいいます。

協力内容は、①診療中の方に対するリワーク事業についての情報提供及びリワーク事業を受けることについての勧奨、②事業主に対する支援対象者の症状等に関する助言、③リワーク事業の支援に係る医学的見地からの専門的助言です。

1 リワーク事業の流れ

事前相談

雇用事業主、支援対象者、協力医と個別に相談等を行い、支援の方向性（職業リハビリテーション計画）を検討します。

職業リハビリテーション計画の策定

雇用事業主、支援対象者、協力医によるケース会議等を開催し、当面の支援期間（支援開始予定日等）、支援目標、支援内容等を策定します。

実施同意書の提出

リワーク事業実施にあたり、雇用事業主、支援対象者、協力医の3者の同意を必要とします。

支援実施の決定

提出された同意書に基づいて、センター所長が支援の実施を決定します。

リワーク事業の開始（基礎評価・3週間程度）

雇用事業主 職場復帰に向けて事業所状況の分析等を実施します。
支援対象者 面接調査等より体調・気分の状態、職場復帰への課題等について把握します。
協力医 支援対象者の病状に応じた支援方法について把握します。

支援計画の策定

基礎評価の結果等を踏まえて具体的な支援内容、スケジュール等の支援計画を策定します。支援計画策定にあたっては、雇用事業主、支援対象者、協力医の3者の同意を必要とします。

センター内支援

支援対象者 センターに通っていただき、体調等を確認しながら作業支援やストレス対処講習等を通じて、復帰のためのウォーミングアップを行います。

リハビリ出勤支援

職場復帰予定の職場等での作業体験等を通じて、復帰に向けた不安の軽減等を図ります。

職場復帰

フォローアップ

【問合せ先】

独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構
愛知障害者職業センター

担当：障害者職業カウンセラー

TEL 052-452-3541